



「山の湯」1946-59(昭和21-34)年  
花巻市立花巻図書館所蔵



「高村光太郎先生『帰路』」1948(昭和23)年頃  
花巻市立花巻図書館所蔵



「平和の鐘」1941-44(昭和16-19)年  
花巻市立花巻図書館所蔵

## 光の詩人 内村皓一展 ~白と黒の深淵~

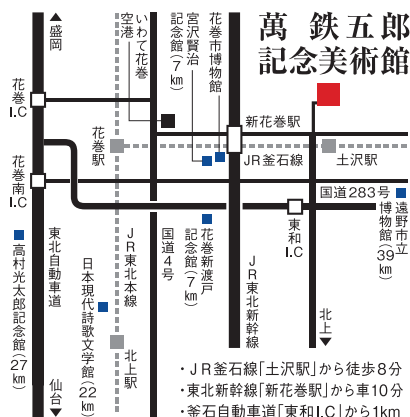
1914(大正3)年盛岡市に生まれた写真家・内村皓一(1914-1993)は、1940(昭和15)年関東軍に徴用され中国・奉天にわたります。翌16年から2年余りにわたって撮りためた3,000枚の写真は、戦争により厳しい生活を送りながらも生き抜く、生々しい市井の人々の姿をとらえた人物像や、戦火で傷付きながらも美しい奉天の風景などでした。終戦後そのなかから30数本のフィルムを荷物に忍ばせ帰国。残りは自らの手で焼却しました。

帰国後は花巻市で家業の印刷業を営むかたわら、1947(昭和22)年アムステルダム国際サロンでの「盗女」「ボロ」「流浪者」「不具者」入賞を皮切りに数多くの国際サロン展に出品。その入選作は2,000点を超え、1950(昭和25)年には、英国ロイヤルアカデミーサロン「瞑想」グランプリなど多くの受賞歴をもちます。また、戦後花巻に疎開していた高村光太郎と交流を深め「光の詩人」と称されました。さらに、写真クラブ「皓友会」を結成し後進の指導に努めるかたわら、各国の写真団体と交流展を開催するなど国際的なネットワークを築いていきます。1973(昭和48)年には岩手日報文化賞を受賞。昭和59年英国王室写真協会正会員。1993(平成5)年80歳で亡くなるまで後進の指導に尽力しました。

本展では、内村の奉天時代の作品50点に戦後サロンを中心に発表した女性像や「貌」シリーズをあわせ、初の大規模な回顧展として内村写真の全貌を辿り、郷土の美術家を検証します。

[主催] 萬鉄五郎記念美術館

[入館料] 一般/400(350)円 高校・学生/250(200)円 小・中学生/150(100)円  
\*( )内は20名以上の団体料金



萬鉄五郎記念美術館

〒028-0114 岩手県花巻市東和町土沢5-135  
TEL.0198-42-4402 FAX.0198-42-4405



「恋」1940-46(昭和15-21)年  
岩手県立美術館所蔵



「流浪者」1941-44(昭和16-19)年  
花巻市立花巻図書館所蔵



「瞑想」1941-44(昭和16-19)年  
花巻市立花巻図書館所蔵



「幻聴」1941-44(昭和16-19)年  
花巻市立花巻図書館所蔵



「含唇」1941-44(昭和16-19)年  
花巻市立花巻図書館所蔵



「盗女」1941-44(昭和16-19)年  
花巻市立花巻図書館所蔵



「肉を売る女」1941-44(昭和16-19)年  
花巻市立花巻図書館所蔵



「黙」1957(昭和57)年頃  
花巻市立花巻図書館所蔵